

## 肝動脈塞栓療法

治療前



治療後



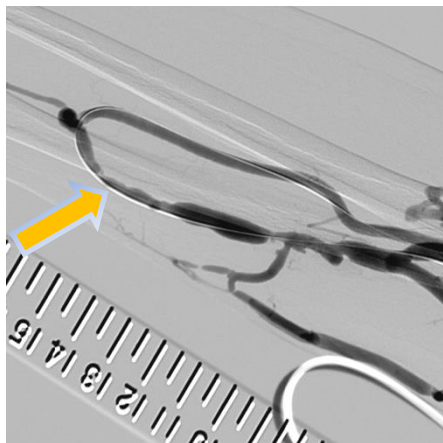
右肝動脈(肝臓を栄養している血管)を造影した所、腫瘍濃染あり(矢印)。

カテーテルを腫瘍を栄養している血管まで進めて行き、抗がん剤を注入し、その後塞栓物質で塞栓。

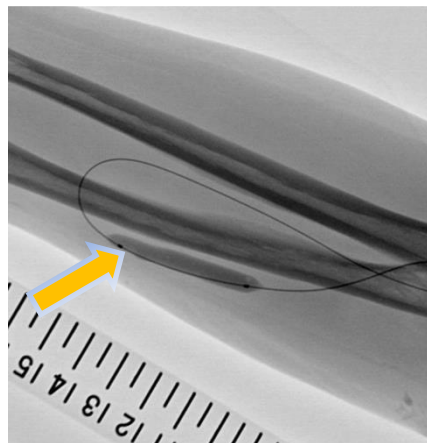
治療後の造影画像にて腫瘍の非抽出、腫瘍血管の消失を認める

## 上肢血管拡張術

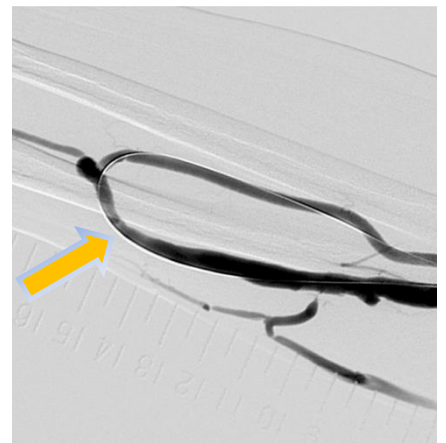
治療前



バルーンで拡張中



治療後



右前腕の透析シャント血管を造影した所、静脈に狭窄認められた。

バルーンを狭窄部に進め、膨らました。

治療後の造影画像で血管の拡張を確認。

## RSM(Real time Smoothed Mask) DSA法

DSA(通常の撮影)



RSM撮影



通常の撮影では、息止めがうまく出来てないと、呼吸ズレが発生してしまう(矢印)。  
RSM撮影では、自由呼吸下でも、良好な画像が得られている。

## SCORE-CT



島津製作所HPより



造影剤を注入しながら、機械を回転させて撮影し、画像再構築する事によりCT画像のような輪切り像を得られる。